

News Release

2022年12月13日
株式会社日本政策投資銀行

「第9回 DBJ 女性新ビジネスプランコンペティション」の ファイナリスト及び受賞者を発表

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、2022年12月13日、DBJ が主催する「第9回 DBJ 女性新ビジネスプランコンペティション」のファイナリスト及び受賞者を発表しました。

DBJ では、女性による新しい視点でのビジネスを、社会や経済に変革をもたらす成長事業として育成するため、2011年度より「女性新ビジネスプランコンペティション」を実施しております。

今回は、196件のご応募の中から、事業と経営者の両面で評価を行い、「DBJ 女性起業大賞」と「DBJ 女性起業優秀賞」を決定いたしました。今後、事業奨励金の支給や計画実現に向けたサポートを実施してまいります。

また、2017年に東京都と締結した女性活躍・起業支援分野における連携協定に基づき、本コンペのファイナリスト全員に対し、東京都より都知事賞として「女性パワー^{はばた}翔き賞」を授与しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します」に基づき、女性の起業を積極的にサポートしてまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第6部 女性起業サポートセンター

運営事務局 一般財団法人日本経済研究所 女性起業サポートセンター

お問い合わせフォーム <https://www.jeri.or.jp/wec/contact/>

電話番号 03-6214-3605

第9回

DBJ 女性新ビジネスプランコンペティション

ファイナリスト 一覧

(敬称略)

DBJ女性起業大賞



せき よしみ
関 芳実

神奈川県

企業による物品廃棄を削減、
適材適所を可能にする
備蓄食活用のマッチングプラットフォーム

株式会社 StockBase
代表取締役



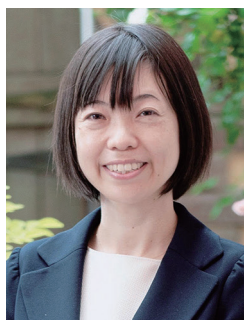
とよしま ちな
豊嶋 千奈

東京都

950社以上が利用するwell-beingワークライフ
「ライフサポート」
福利厚生AI良縁ナビアプリAill goen(エール ゴエン)
～仕事も家庭も支え合えるパートナーを～

株式会社 Aill
代表取締役

DBJ女性起業優秀賞



よしい ゆきえ
吉井 幸恵

千葉県

一「革新的な「見える」がん治療」で、
安心・納得の医療をー
がんと闘う、すべての方の笑顔のために
最先端科学と医療をリンクする

リンクメッド株式会社
代表取締役社長



ほり ひさの
堀 永乃

静岡県

認定監査人制度の創設による
職場の外国人受け入れ環境整備の推進

一般社団法人グローバル人財サポート浜松
代表理事

DBJ女性起業優秀賞



おくがわ ときか
奥川 季花

和歌山県

「土砂災害リスク軽減に向けた、
個人・企業向け事業」
MODRINAEをはじめとした一般顧客・
顧客企業向け森林保全サービスの
開発と販売。

株式会社ソマノベース
代表取締役社長



さとう
佐藤 みどり

茨城県

買い物困難者の皆さまが買い物を通して
笑顔になる社会を創出します。
ー アナログ技術×デジタル技術で
解決するー

コンプラス株式会社
代表取締役

はやし ひろみ
林 弘美

東京都

独創的な技術開発により、屋外用蓄光式
誘導製品開発を行う。
無電源自発光機能により、
人々に夜間の「安心」「安全」を提供する。

株式会社リンコー
代表取締役社長



さとう まこと
佐藤 真琴

静岡県

【Speak】がん患者の人生を
サポートする助け合い
コミュニティと、ビッグデータとコミュニティを
活用した協働で、誰もが参加できる
未来のがん患者支援へ

株式会社 PEER
代表取締役社長

『革新的な「見える」がん治療』で、安心・納得の医療を がんと闘う、すべての方の笑顔のために 最先端科学と医療をリンクする



代表取締役社長

よしい ゆきえ
吉井 幸恵

Link for Life



リンクメッド株式会社

千葉県

【略歴】

筑波大学卒業。理学博士。
国立の研究所(量子科学技術研究開発機構、QST)にて10年以上、放射線を利用したがん治療薬の研究に従事。診断と治療を同時に行える「見える」がん治療薬を開発。代表者としてAMEDやJSTから支援を得る。開発第一号⁶⁴Cu-ATSMの第I相試験(国産放射性治療薬で初の臨床試験)が再発悪性脳腫瘍患者対象に国内医療機関で実施されている。2022年7月QST認定ベンチャー「リンクメッド株式会社」創業。2026年IPOを目指す。CHIBAビジコン2021、大賞(千葉県知事賞)受賞。

事業内容

- 皆様の健康と幸せのために、最先端科学と医療をつなぐ -

リンクメッド株式会社は、がんで苦しんでいる患者さんやご家族、がんと闘う医療従事者の皆さまの笑顔のために、最先端科学と医療をリンクし、『革新的な「見える」がん治療』をいち早く社会にお届けすることをミッションとしております。

がんの現状の治療法には、治療効果が十分でない、副作用が大きいといった課題があります。これらの課題を克服するため、私たちは『放射性同位体⁶⁴Cuを用いた『革新的な「見える」がんの放射性治療薬』を開発しています。⁶⁴Cu放射性治療薬はがん細胞のDNAを効果的に攻撃できるため、高い治療効果が得られ、さらに、陽電子放射断層撮影(PET)診断でがんへの薬剤集積を確認しながら、安心・納得の治療を提供できます。

私たちはこの「見える」⁶⁴Cu放射性治療薬を一日も早く社会実装することで、皆様の健康と幸せに貢献します。

独創的な技術開発により、屋外用蓄光式誘導製品開発を行う。無電源自発光機能により、人々に夜間の「安心」「安全」を提供する。



株式会社リンコー

東京都

【略歴】

岐阜県出身。
ものづくりに興味があり、岐阜職業能力開発促進センターにて、CAD/CAM技術を学ぶ。
2015年名古屋市の蓄光製品販売会社に入社し、製造部門に携わる。
2017年屋外専用蓄光製品の研究・開発が目的で技術パートナーと会社を設立。
研究及びCAD技術を活かし、避難誘導に必要な様々な製品を開発。

代表取締役社長

はやし ひろみ
林 弘美

事業内容

南海トラフ地震が確実視されている現在、夜間の「ブラックアウト」という最悪の事態が想定されます。蓄光（化学名：りん光）という自然発光メカニズムを活用し、夜間、特に屋外において一人でも多くの命を救うことを願いこの事業を開始しました。大規模地震では、1分・1秒が生死を左右します。足元がまったく見えなくなるため、逃げ遅れる方や段差の躓きによる二次災害も予想されます。暗闇の中、光の道しるべとして、避難場所まで「途切れることのない誘導」ができる製品の開発を行ってきました。顧客や社会の声など様々なご要望に応え、研究及び開発を行ってきた成果が、自社特許に繋がっています。当社の基本特許は、屋外で長期使用を可能とした蓄光シリコン積層構造であり、当社製品は、すべて自社特許に基づき製造した製品です。（取得特許 15 点、特許出願中 10 点）

950社以上が利用するwell-beingワークライフ「ライフサポート」 福利厚生AI良縁ナビアプリAill goen (エール ゴエン) ～仕事も家庭も支え合えるパートナーを～



代表取締役

とよしま ちな
豊嶋 千奈



株式会社 Aill

東京都

【略歴】

2009年同志社大学法学部を卒業し、武田薬品工業に入社。薬剤の営業、企画立案、地域戦略・マーケティングを担当。営業では3年実績進捗率全国1位となり、女性幹部候補生に選出。17年に経営学修士(MBA)を取得。

18年にAill事業開始。19年に「B Dash Camp」「IVS Launch Pad」「TechCrunch Tokyo」などの主要なベンチャーピッチ大会で入賞。20年に女性日本起業家代表に選出、21年HRアワード最優秀賞を受賞。武田薬品 TOP 営業のノウハウを活かし、産学連携で人と人のコミュニケーションをアシストができる AI・人工知能 を開発。

事業内容

「AIで従業員の well-being にエールを」テーマに、人と人のコミュニケーションサポートを行う AI を開発。その AI を使って良縁ナビゲーションアプリ Aill goen (エール ゴエン) を福利厚生サービスとして提供しています。

Aill goen が、心の健康状態を創るための施策の1つとしてHRアワード 2021 最優秀賞を受賞。サービス導入企業数が 950 社を超えるなど、well-being のライフサポートサービスとして「良縁ナビゲーションアプリ Aill goen」が経営・人事課題に寄り添うサービスと賛同が広がっています。

CEO 豊嶋の営業のノウハウと恋愛によって、ロジカルとエモーショナル両方に配慮したコミュニケーションアシスト AI は、ワークライフシナジーのワーク（社内コミュニケーション、営業ツール）やライフ（家族・パートナー向け）に転用が可能です。

企業による物品廃棄を削減、適材適所を可能にする 備蓄食活用のマッチングプラットフォーム



株式会社 StockBase

神奈川県

【略歴】

2000年横浜市生まれ。2018年横浜市立大学に入学し、現在4年生(2022年11月現在)。税務会計を専攻。
この事業は、企業のカレンダーを高齢者施設に運ぶボランティアから始まりました。企業では不要とされても、高齢者の方にとっては大変喜ばれる、この事実を知った時、こういったモノを循環させる仕組みを作りたいという想いで大学3年次に就活を辞めて、事業化を決めました。さがみはらSDGsパートナー/おだわらSDGsパートナー採択・PIAビジネスグランプリ最優秀賞・YOXO Acceleration Program2021採択・KSAP2021採択etc

代表取締役

せき よしみ
関 芳実

事業内容

モノと想いを循環させ、豊かさを分かち合う社会。

我々が目指すのは、モノの価値を最大限にする、そんな社会です。

本事業の原点は“営業用のカレンダー”を高齢者施設に送るボランティアでした。

企業内では不要とされ廃棄されるものも、高齢者の方には大変人気がありました。

「誰かにとって不要なモノも他の誰かにとっては必要なモノかもしれない」この気づきから、モノを循環させる仕組みを構築しました。

企業向けに、物品有効活用のマッチングサービスを提供し、地域の活動団体と企業を繋げ、モノを必要な場所に届けるプラットフォームを運営しています。

認定監査人制度の創設による 職場の外国人受け入れ環境整備の推進



代表理事

ほり ひさの
堀 永乃



一般社団法人グローバル人財サポート浜松

静岡県

【略歴】

一般社団法人グローバル人財サポート浜松代表理事。
企業で働く傍らボランティア活動を経て、2001年より浜松国際交流協会日本語教育や交流事業等の企画と運営を行い、2010年1月の浜松市外国人学習支援センターの開設に携わる。リーマンショック以降、外国人就労と高齢化の課題に直面し、2011年にグローバル人財サポート浜松を設立。在住外国人の介護職員研修や日本語教育、大学生を対象にした次世代育成事業を行う。全国各地の自治体やNPO等での研修のほか、市民向け多文化共生に関する講演も多数。現職のほか、日本大学国際関係学部非常勤講師、全国市町村国際文化研修所講師、自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、文化庁地域日本語教育推進アドバイザーなどを務める。2018年度国際交流基金地球市民賞受賞。

主な書籍は「やさしい日本語とイラストでわかる介護のしごと」(2015年、日本医療企画)。「やさしい日本語とイラストでわかる みんなの介護」(2019年、日本医療企画)。「初級からこんなに話せる日本語160時間」(2020年、凡人社)

事業内容

今や日本はコロナ禍でも172万人を超える外国人労働者を抱え、その数は増加の一途をたどっています。しかし、2021年米国国務省の人身取引報告書をはじめ、日本に対する国際社会の目はより厳しくなっています。こうしたことから、多様な労働者が活躍する社会のために、認定監査人制度を創設し、職場の外国人受け入れ環境整備を推進します。

本事業では、まず事業所の外国人労働者の雇用に関する正しい知識を有し、職場内の環境状況を適切に評価することができる人材(監査人)の育成を図ります。監査人は、初級、上級の2レベルで分けられ、認定監査人として事業所の職場環境を2段階の監査で評価します。一方、事業所は、初級監査で現状評価が数値化され、上級監査で再度評価されます。これらの監査結果を基準に、認定委員会が優良事業所を3つのグレードで認定します。

さらに本事業の汎用化にあたり、全国各地の中間支援機関等に各地の特性を尊重しつつ、この事業スキームを活用してもらうよう連携します。これにより、全国で優良事業所は増え、日本の「ビジネスと人権」を醸成し、SDGsの目標を達成していきます。日本を世界中の若者から選ばれる国にするために……。

「土砂災害リスク軽減に向けた、個人・企業向け事業」 MODRINAEをはじめとした一般顧客・顧客企業向け 森林保全サービスの開発と販売。



代表取締役社長

おくがわ と き か
奥川 季花



株式会社ソマノベース

和歌山県

【略歴】

高校時代に地元で紀伊半島大水害により被災し、災害リスクの低い山づくりをしたいと志す。現在は災害リスクの低い山づくりを目指し(株)ソマノベースを設立。代表取締役を務める。自宅で植林用苗木を育てる、購入者参加型の新しい形の観葉植物「MODRINAE」を発表し、Wood Change Awardやウッドデザインアワードを受賞。その後ECサイトを開設。今期から企業向けにもMODRINAEを販売開始。造林業を営む(株)中川のフォレストワーカーとしても勤務。

■その他の受賞歴

Sustainable Forest Action 2020 優秀賞
ウッドデザインアワード2022 受賞

■メディア掲載情報

【テレビ】・NHK「おはよう日本」「ほっとニュース関西」「ぎゅぎゅっと和歌山」・関西テレビ「報道ランナー」等
【YouTube】・イナズマロックドリームTV
【新聞・雑誌】読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・紀伊民報・ニュース和歌山・Pen・ソトコト・ターンズ・林政ニュース 等

事業内容

土砂災害リスクの低い山林の増加を目指し、林業事業者の収入を増やすため、「森林と一般顧客・顧客企業」を繋ぐプロダクト・サービスを開発、販売する事業。自宅やオフィスで育てられる植林用苗木セット「MODRINAE（戻り苗）」を軸に、植林体験や森林保全授業などをパッケージとして販売。カーボンクレジットやインハウスでの林業事業も進める。

買い物困難者の皆さまが買い物を通して 笑顔になる社会を創出します。 — アナログ技術×デジタル技術で解決する —



代表取締役

さとう
佐藤 みどり



コンプラス株式会社

茨城県

【略歴】

1959年茨城県日立市生まれ。専業主婦を経て、パソコン教室のインストラクターや介護施設の介護スタッフとして従事。

2012年義父が脳梗塞で倒れ、義母が在宅介護をすることになり、義父・義母の買い物を行うことになり買い物ができない高齢者が多数いることを実感し、2019年11月に同じ志を持ったシニア世代3名と設立。

以下、主な採択事業・受賞歴

- ・茨城県振興公社主催 茨城県地域課題解決型起業支援金
- ・経済産業省主催 Wide Ecosystem Accelerator広域連携アクセラレーター2020
- ・めびきFG主催 第5回めびきビジネスアワード特別賞

事業内容

日本では65歳以上の買い物困難者は約825万人います。この人数は全65歳以上の4分の1(24.6%)の方が買い物困難者となります。

特に地方都市においては、交通インフラが整備しておらず、自動車が買い物する上で、必要不可欠です。

そのような状況下で、高齢者が免許返上した場合は、すぐに買い物困難者になってしまいます。

この買い物困難者の問題は、情報弱者・感染リスク・地域スーパー・買い物サービス等複合的な課題から問題が発生しています。

更に、買い物困難者の状況は、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、益々深刻さは増していきます。

この課題を解決することが急務です。

コンプラスが解決したい課題

1. 買い物困難者の課題
2. 情報弱者の課題
3. 感染リスクの課題
4. 地域スーパーの課題
5. 買い物サービスの課題

このような課題を、【訪問型】【ネット型】【タブレット型】の買い物支援サービスで解決します。

私たちは、生きていく上で、一番大事な『食』を、『住んでいる場所や年齢に左右されることなく、誰もが同じサービスを受容できる』継続可能な社会インフラを構築します。

【Speak】がん患者の人生をサポートする助け合いコミュニティと、ビッグデータとコミュニティを活用した協働で、誰もが参加できる未来のがん患者支援へ



代表取締役社長

さとう まこと
佐藤 真琴



株式会社 PEER

静岡県

【略歴】

株式会社PEER代表 看護師/工学修士(MOT)
がん患者さんの日常生活の相談支援を目的に看護学校在学中に起業。

脱毛を体験する人に向けた相談できる専門美容室ピアの運営と、買いやすいウィッグの製造販売を行う。美容室を拠点とし、脱毛時期を体験する人たちの安心できる場所づくりを目指し、現在直営2ヶ所の運営と、国内の連携美容室約20ヶ所の運営を支援。2008年東海若手起業塾1期生、2016年社会イノベーターズ公志園4期生。NPO法人がんノート理事

| (公財)あいちコミュニティ財団代表理事 | NPO法人しずおか共育ネット理事 <https://www.linkedin.com/in/peer-msato/>

事業内容

現在がん患者さんは治療と生活の中で、3つの課題が発生しています。1つ目は、相談窓口です。がん治療は通院や副作用で生活に影響します。患者さんの生活は多様化し、生活に関する情報収集や相談は、病院の中だけでは解決できないものが増えています。2つ目は、ネット検索の難しさです。がんに関する情報ページはネット上に50億件以上あり、今の自分にとって有益で正しい情報を探し出すのが難しくなっています。3つ目は、出会いです。コロナ禍で患者会やイベントなど、実際に他のがん患者さんに会える場所が減っています。さらに、多様化する情報ニーズの中で、自分と似た状況の人と話したい、解決できる専門家と話したいというニーズが高まっています。Speakはこれら3つのニーズに応えるサービスです。がん患者さんの知りたいことに答える公的情報へリンクした情報ページ、似た患者さんに会えるテーマ別オンライン患者会、個別の課題解決に向けた相談専門家のマッチングができるコミュニティを提供し、がん患者さんの日常生活を豊かにする有機的なエコシステムを育てようとしています。